

腕上げ作業用アシストスーツ マッスルスーツ® GS-ARM 取扱説明書



この製品について

目的

この製品は、主として農作業や工場での作業において、腕を挙げる、もしくは腕をある高さで保持する場合の腕補助を目的とした着用型動作補助装置です。

製品構造と動作原理

この製品は、肩／うで／背中／こしの各フレームと、装置を装着するための各種ベルトから構成され、ガススプリングによりうでパッドに上向きの補助力を発生させます。動作原理は次の通りです。

ガススプリングは、シリンダとロッドから構成され、内部に高圧ガスが封入されています。ロッドがシリンダに押し込まれることで、内部のガスが圧縮され、元に戻ろうとする大きな反力が発生します。このガススプリングを、4節スライダリンク機構の滑り対偶として用いることで、腕/パッドに上向きの補助力を発生させます。

マッスルスーツGS-ARMについて

電気を使用しておらず、装着するだけすぐにご使用になります。

ただし、ガススプリングの高圧ガスが自然に抜けるため、1年程度でガススプリングユニットを交換する必要があります。

もくじ

はじめに

この製品について	P.1
各部のなまえ	P.2
安全上のご注意	P.3

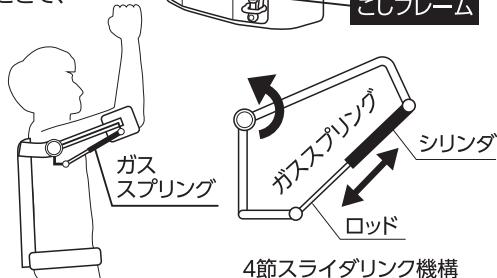
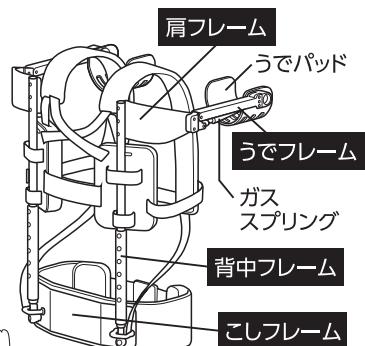
マッスルスーツ GS-ARM の使い方

装着する	P.4
装着する(背中フレームの高さ調整)	P.5
作業する	P.6
作業が終わったら	P.7
点検内容	P.8
外装カバーの取外し方	P.9
こしふルトカバー・背中	
パッドベースのメンテナンス	P.10
ガススプリングユニットの取外し・取付け方	P.11/12

その他

よくある質問	P.12
消耗部品と交換の目安	P.14
故障かな?と思ったら	P.14
仕様とパッケージ内容	P.15
修理とアフターサービス	P.16
廃棄方法について	P.16

はじめに



4節スライダリンク機構

各部のなまえ

はじめに

うでベルト

補助 ON 時は上腕の上を通ってうでバックルに接続します。補助 OFF 時はお休みバックルと接続します。

うでパッド

上腕を乗せるためのパッドです。うでパッドカバーで覆われています。

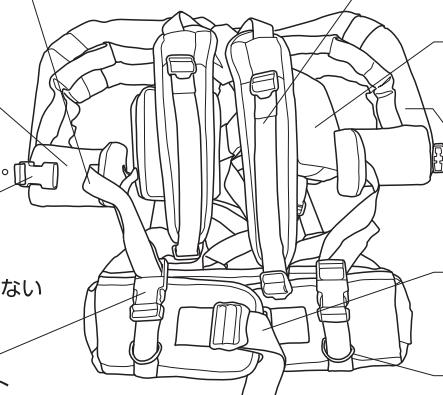
うでバックル

補助 ON 時にうでベルトと接続することで、上腕と、うでパッドが離れないようにします。

お休みバックル

補助 OFF 時にうでベルトと接続することで、意図しないうでフレームの跳ね上がりを抑制します。

前面



肩ベルト

本製品を両肩で背負うためのベルトです。外して洗濯することができます。(防水ではありません)

背中パッド

クッションとしての役割をもっています。

うでフレーム

うでカバーで覆われています。内部にはガススプリングユニットが搭載されています。

こしベルト

こしに固定する為の調整用ベルトです。

小フック

工具等 5kg以内のものを引っかけることができます。

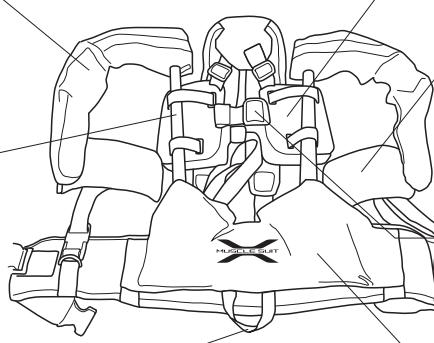
うでカバー

本製品を汚れから保護します。外して洗濯することができます。(防水ではありません)

背中フレーム

本製品の高さを調整することができます。ロックボタンを押しながら目安身長の位置にスライドさせます。

背面



背中パッドベース

背中フレームの位置ズレを防ぎます。

うでパッドカバー

うでパッドを汚れから保護します。外して洗濯することができます。(防水ではありません)

背中パッドベルト

背中パッドベースの位置ずれを防ぎます。

こしベルトカバー

本製品を汚れから保護します。(防水ではありません)



ガススプリングユニット

ガスの反力を利用して補助力が発生します。

本製品は左右1本ずつ計2本使用しています。(本体から外して交換することができます)

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な事故などに結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示マークについて

	取扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。
	取扱いを誤ると、使用者が傷害を負ったり物的損害の可能性があります。

図記号の内容

	「必ず行う」事項を示しています。
	「一般的な禁止」事項を示しています。

装着する前の確認

本製品を装着する前の確認項目を説明します。

	必ず本製品に外装カバーを取り付けた状態で身体に装着してください。ケガをするおそれがあります。
	本製品は上腕の補助用機器であり、上腕を肩より上に挙上した状態で作業を行うときなどの、腕の負担を軽減することに特化しています。 上記目的以外には使用しないでください。医療機器ではありません。肩こりなど肩の痛みを軽減する効果はありません。 分解や改造は絶対に行わないでください。 製品のサイズ（S もしくは ML）は身長・体格に応じて適切なサイズを選んでください。
	使用前の点検は必ず行ってください。ガスプリングユニットにゆがみや膨張等がみられる場合には、絶対に使用しないでください。ガスプリングユニットの破裂等によるケガのおそれがあります。
	上着のポケットにものをいれたまま装着しないでください。 腰回りにベルト状の道具入れなどを付けている場合は、本製品の腰ベルトと干渉しないように装着してください。フルハーネスを装着して本製品を使用する場合、フルハーネスの上から本製品を装着し、ハーネスのランヤード部分を背中パッドベルトの上の隙間から引っ張り出して、直接的に干渉しないようにしてください。首にカードホルダーなどをかけている場合には、本製品と干渉し、カードホルダーなどが使用者の首に絡んだりすることのないよう注意してください。

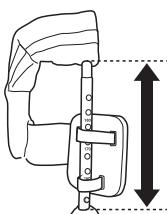
確認項目	確認内容
外装カバー	外装カバーが正しく装着されており、破れなどの破損がないこと。 破損、破れなどがある場合は、P.16 に記載の故障修理受付までお問い合わせください。

装着する

本製品の装着のしかたを説明します。

1 Step.1

身長表記を
目安に、背中
フレームの
長さを調整
します



2 Step.2

肩ベルトで
リュックの
ように
背負います



3 Step.3

こしベルトを
締めた後、
左右の
アジャスターで
しっかりと
引き締めます



4 Step.4

背中パッドが
背中に密着
するよう
肩ベルトを
締めます



5 Step.5

お休み
パックルから
うでベルトを
外し、そのままで
前へ引張ります



6 Step.6

うでパッドに
上腕を乗せ、
うでベルトで
固定します



Point.2

うでパッドが肘より
少し手前で、肘に
あたらない位置が
正しい位置です

時に近い場合は背中フレームを短く
脇に近い場合は背中フレームを長く
します

7 Step.7

反対側の
うでもStep5、
Step6の
手順を行います



8 Step.8

うでを支える
補助を行います



Checkpoint

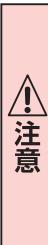
背中フレームの
先端が肩の高さ
より少し低い
(1~2cm程度)
位置にあること



装着のポイント

本製品を正しく装着しない場合、既定の補助力が発揮できません。

こしベルトは正しい位置（高さ）に付けてください。また肩ベルトはしっかりと締めてください。
うでパッドの位置は、肘より少し手前で、肘にあたらないようにしてください。

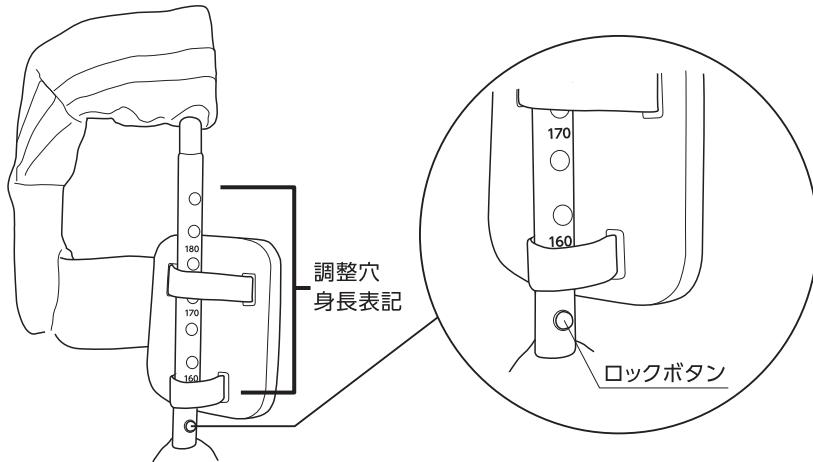


- ・ 本製品を初めて使用する場合は、安全な場所で、サイズ調整および装着方法、使用方法について、十分な練習を行ってください。
- ・ 必ず外装カバーがつけられていることを確認したうえで、装着してください。
- ・ 周囲の人や物に接触しないよう、十分な距離を確保して装着してください。
- ・ 特に、Step.5 の際、腕フレームが前方に勢いよく飛び出ることがあります。使用者のケガ並びに周囲の人及び物への接触に注意してください。

装着する（背中フレームの高さ調整）

P.4「Step.1」のポイント

- ① ロックボタンを押しながら、背中フレームの身長表記を目安にスライドさせてください。
- ② 調整後、ロックボタンが調整穴から飛び出している事を確認してください。
※背中フレームの高さ調整の際、背中フレームに指等を挟むことのないようご注意ください。



作業中

!
警告



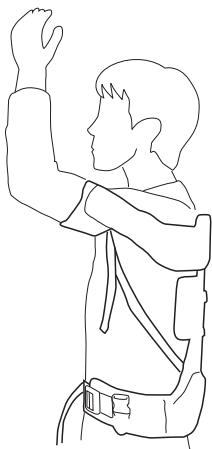
- 本製品を落としたり、ぶつけたりした場合は、そのまま使用しないでください。装着時の事故につながるおそれがあります。変形や破損が生じた場合には、販売店やメーカーへお問い合わせください。
- 異音や不均等な動きなど、この製品に異常のある状態で使用しないでください。事故や破損の原因になるおそれがあります。
- 背後に余裕がないところで作業しないでください。この製品により背後や周囲の物を損傷し、または人にケガをさせるおそれがあります。
- 湿気、ごみ、ほこりが極端に多い場所や、溶液、鉄粉、粉塵、木くずなどの異物がかかる場所では使用しないでください。事故や破損の原因になるおそれがあります。
- アンモニア、酸、塩分、オゾンガス等、腐食性ガスのある場所では使用しないでください。事故や破損の原因になるおそれがあります。
- 本機器を装着したまま、以下のことは行わないでください。
 - ・足元が不安定な場所や滑る場所に行ったり作業しないでください。
 - ・フォークリフトなど車の運転をしないでください。
- 上腕をうでパッドにベルトで固定していないときは、うでベルトを必ずお休みバックルに止めてください。

作業する

本製品の機能を最大限に発揮するため、またケガをしないように、本製品の使いかたを正しく理解したうえで、必ず事前に練習を行ってから使用してください。

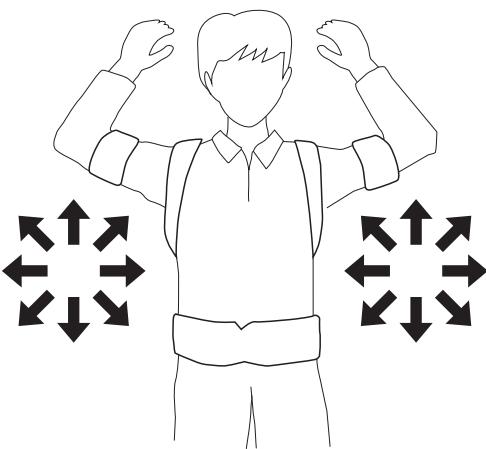
補助される動作

- 本製品は、腕を挙げたり、長時間挙上し続けるときに、ガススプリングの反力を利用して補助します。



動作範囲

- 腕を上下左右斜め、自由に動かす事ができます。



- ・ガススプリングを交換する事で、補助力を変更できます。

!	<ul style="list-style-type: none">● ご使用になる際の作業内容、場所、周囲の環境や状況に応じて事前に十分な練習を行ってください。事故の原因になるおそれがあります。● 動作の確認を行うときは、安全確保のため、周囲の安全を確保してから行ってください。事故の原因になるおそれがあります。
警告 🚫	<ul style="list-style-type: none">● 自分の腕力で保持できる重さ以上のものを持ち上げないでください。本製品を利用しても腕力が向上することはありません。● 腕を動かす場合に、無理に力を加えないでください。本製品の破損や使用者のケガにつながるおそれがあります。動作範囲に違和感がある場合には、直ちに使用を中止し、点検を行ってください。

作業が終わったら

作業が終わったら以下の手順で保管します。

保管のしかた

- ① P4 「装着する」の逆の順序で本製品を脱いでください。
- ② お休みパックルにうでベルトが取り付けられている事を確認してください。
- ③ 汚れや水滴が付着している場合は、乾いた布などでしっかり拭き取ってください。
- ④ 本製品を、安全な場所に保管してください。
平らな場所に置くか、こしひベルトの下側中央部についているハンガーフックを使って、さかさまにつるしてください。



!	本製品を保管する際には、うでベルトを必ずお休みパックルにはめてください。
! 警告	保管するときは、以下の内容を守ってください。破損や故障につながり、次に使う際にケガや事故の原因になります。 <ul style="list-style-type: none">・直射日光が当たる場所、水のかかる場所には保管しないでください。・本製品の上に物をのせたり、座ったりしないでください。・本製品を人通りが多い場所や通路に置かないでください。・乳幼児が触れる場所に保管しないでください。・本製品を不安定な場所に吊るしたり置いたりしないでください。

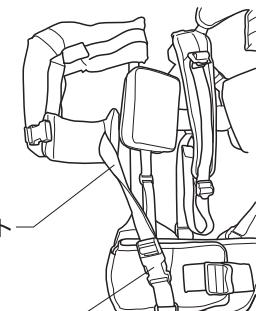
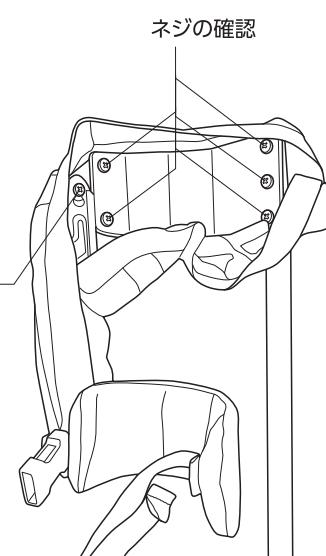
点検箇所

本製品を使用する前には必ず点検を行ってください。また、週1回、月1回の標準的な点検についても説明していますが、使用状況に応じた頻度で点検を行ってください。

項目	使用前	1週間に1回	1ヵ月に1回
外装カバーの取り付け状態 〔カバーが取り付けられているか、 背中パッドが付いているか確認〕	○		
うでベルトがお休みパックルに取り付けられている	○		
ガススプリングユニットの状態	○		
外装カバーの汚れ・やぶれ		○	
フレームの変形			○
ネジの確認			○

点検内容

ご使用前の点検の手段を説明します。

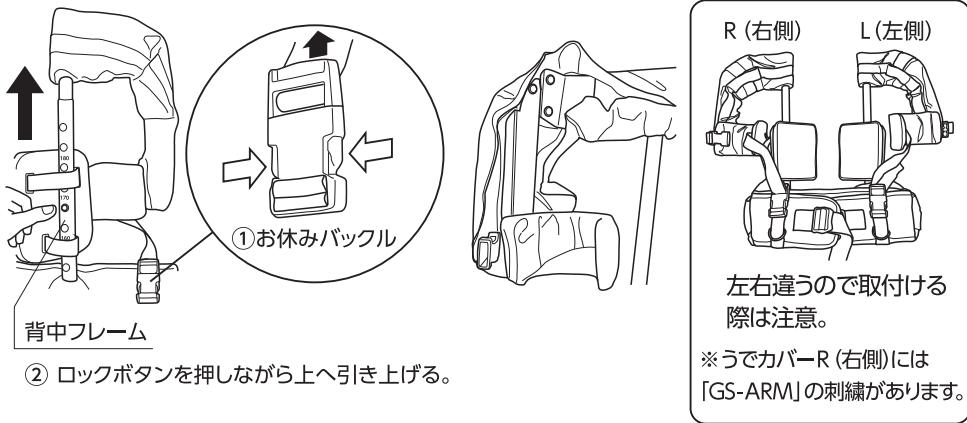
頻度	点検項目
使用前 毎回	<p>① 外装カバーが全て取り付けられており、マジックテープが全て閉じられていることを確認してください。</p> <p>② うでベルトがお休みバックルに取り付けられてあることを確認してください。 取り付けられてない場合、取り付けてから装着してください。</p> <p>③ ガススプリングユニットにゆがみや膨張がないことを確認してください。 また、装着した際にガススプリングユニットが十分に働き、腕への補助力が発揮されていることを確認してください。</p> 
1週間に 1回程度 の点検	外装カバーの汚れ・やぶれを確認してください。 汚れている場合は、外装カバーを取り外して、必要に応じて水洗いしてください。
1か月に 1回程度 の点検	<p>① 製品本体や、構成部品全体を見渡して、ゆがんでいたり、へこんだりしていないか確認してください。 上記の場合は、P.16に記載の故障修理受付までお問い合わせください。</p> <p>② 左右のうでフレームのネジ（片側7ヶ所、計14ヶ所）のネジのゆるみがないか確認してください。</p> 

外装カバーの取外し方

外装カバーは、うでカバー（左右）、うでパッドカバー（左右）で構成されており、全て外して洗濯できます。洗濯時はネットに入れてください。下記を参考に取外し・取付けしてください。

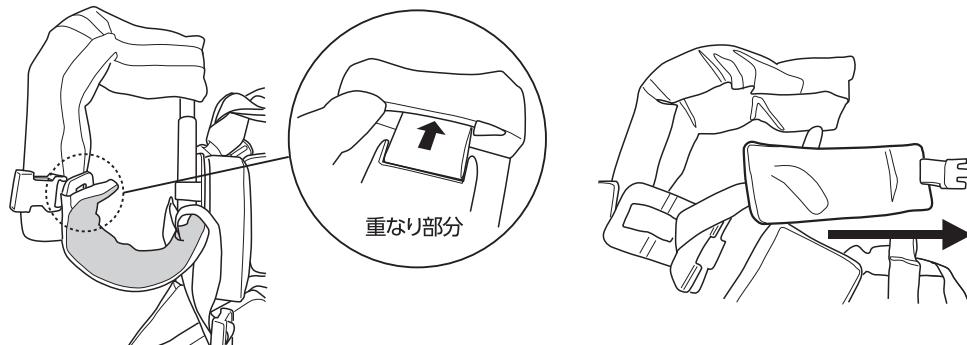
うでカバーの外し方

- ① うでベルトをお休みバックルから外します
- ② 背中フレームを製品から抜き取ります
- ③ マジックテープをはがし、
うでカバーを背中フレームから抜き取ります



うでパッドカバーの外し方

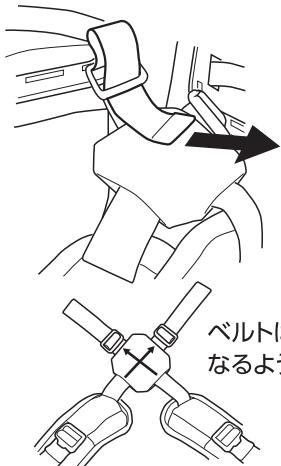
- ① うでベルトをお休みバックルから外します
- ② うでパッド付け根側の重なり部分をめくります
- ③ うでパッドに沿ってずらしていきます
- ④ うでベルトから
うでパッドカバーを抜き取ります。



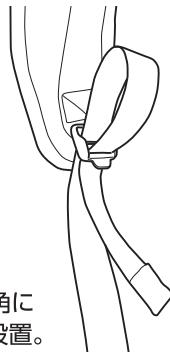
		作業時にうでパッドやうでフレーム、背中フレームに衝撃を加えないでください。 予期せず動いて、周囲の人や物にあたりケガをするおそれがあります。 各部品の取外し・取付けに際し、指を挟む等のケガにご注意ください。
--	--	---

外した肩ベルトの付け方

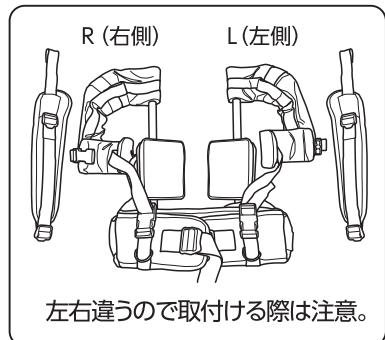
上部アジャスタ
ベルトを通します。



下部アジャスタ
ベルトを通します。

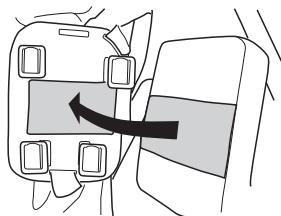


R(右側) L(左側)

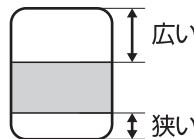


左右違うので取付ける際は注意。

外した背中パッドの付け方



マジックテープで
接合してください。



スペースが広いほうが上。

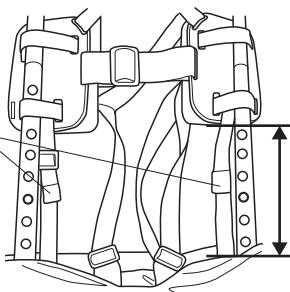
こしベルトカバー・背中パッドベースのメンテナンス

汚れや水滴が付着している場合は、乾いた布等でふき取ってください。

こしベルトカバー・背中パッドベースは、製品から取り外さないでください。

万一、外してしまった場合は、背中パッドベース下のベルト長は初期長さに戻してください。

背中パッドベース下のベルト



初期長さ

Sサイズ : 100mm

M/L サイズ : 160mm

ガススプリングユニットの取外し・取付け方

本製品を脱いだ状態で行います。

- ① うでベルトをお休みバックリから外します。(P.9 参照)

- ② うでフレームを持ちあげて補助をONにします。

※うでフレームは強い力で急に持ち上がるるので注意してください。

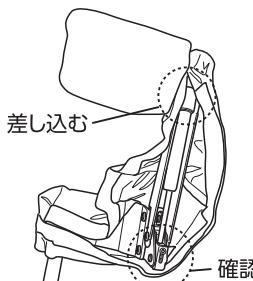
(手で持ちあげて補助 ON にできない方は、次ページを参考に本製品を装着して補助 ON にしてください)



- ③ マジックテープをはがし、カバーを開きます。



- ④ レバーをスライドしてロックを外し、ガススプリングユニットを取り外します。



- ⑤ 新しいガススプリングユニットを差し込み、レバーをスライドして取付けます。

- ⑥ 取り付け後はマジックテープをとめ、カバーを閉じます。

- ⑦ うでフレームを下げて補助を OFF とし、うでベルトをお休みバックリに止めます。

(手で補助 OFF にできない方は、次ページを参考に本製品を装着して補助 OFF にしてください)

取付け後、ガススプリングユニットのロックがかかっている事を確認してください。

警告  	<ul style="list-style-type: none"> ●作業時にうでパッドやうでフレーム、背中フレームに衝撃を与えないでください。予期せず動いて、周囲の人や物にあたりケガをするおそれがあります。 ●ガススプリングは絶対に分解しないでください。 圧縮された窒素ガスが封入されているのでそのまま分解することは非常に危険です。 廃棄時は「廃棄方法について (P.16参照)」の欄をお読みください。 ●ガススプリングは火中に投じないでください。 内部に封入された窒素ガスは可燃性ではありませんが、加熱による膨張のため本体が破裂したり内部のオイルが噴出する可能性があり危険です。 ●ガススプリングは錆が発生するような環境では使用しないでください。 取り付け金具等は亜鉛メッキが施されていますが万全ではありません。 水に濡れた場合は、十分に乾燥させて保管してください。 ●ガススプリングのロッド部には、油や揮発性溶剤を付着させないでください。 ロッド部に付着するとシールを傷めたりする可能性があり、ガス反力の低下につながります。 ●腐食性のある雰囲気での使用はしないでください。 シール部の劣化や本体の腐食による劣化がガス抜けの原因となります。
---	--

ガススプリングユニットの取外し・取付け方（補足）

ガススプリングユニットを交換する場合に必要となる作業です。

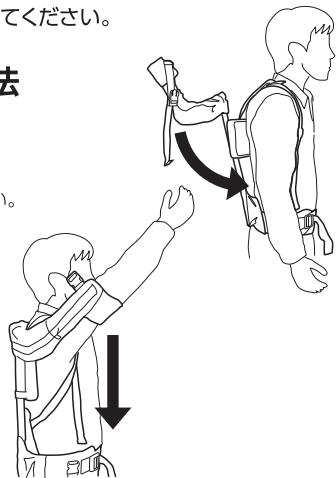
うでフレームが上がった状態で本製品を脱ぐ方法

- ① 「装着する」P.4 を参考に Step.5まで行います。
- ② うでフレームがあがった状態で、上腕をうでパッドから外します。
Point 外したうでベルトは、すぐに離さずに製品が壊れないように持ち続けて、体を傾けて腕フレームを後ろに回してください。
- ③ こしベルト、肩ベルトの順に外し、本製品を平らな所へ置いてください。
- ④ これ以降は前ページを参考にガススプリングユニットを交換してください。



うでフレームが上がった状態から元に戻す方法

- ① 「装着する」P.4 を参考に Step.3まで行います。
- ② 体を手前に傾けてうでフレームを前方に引き寄せてください。
注意 この際、うでパッドが体や頭にぶつからないよう注意してください。
- ③ うでパッドに上腕をのせ、うでフレームを下げてください。
注意 うでパッドから腕が離れない様にしっかりと腕を乗せてください。
- ④ うでベルトをお休みパックルに止めてください。
- ⑤ P.4 「装着する」の Step.1～4を
逆の順序で行い、本製品を脱いでください。



よくある質問

● 補助力について

Q：重量物を持ち上げられますか？

A：マッスルスーツ GS-ARM は、通常作業時より重いものを持つための製品ではありません。通常の作業において、うでを挙げる、もしくはうでをある高さで保持する作業時のうでの負担を軽減する補助を行います。

Q：補助力を調整することはできますか？（腕があがったまま力を入れてもなかなか下がらない）

A：別売りのガススプリングユニット（ライト版）に交換することで
補助力を変更でき、弱くすることができます。

● 保管について

Q：保管はどうすればよいでしょうか？

A：平らな場所か、もしくは腰ベルトの下部中央部に付いているハンガーフックを使用して吊るして保管してください。

● 着脱について

Q：装着時間はどれくらいですか？

A：慣れれば一人でも 15 秒程度で装着できるようになります。

Q：うでパッドが肘のところにきてしまします。うでパッドの位置を変更できますか？

A：背中フレームの高さを上下に調節してください。

一般的に、高さを下げるとき、うでパッドの位置は手前に移動します。

Q：片腕だけ装着して使用できますか？

A：作業中に本製品がずれるため、必ず両腕に装着してください。

Q：こしベルトが余ってぶらぶらします

A：余ったベルトは折り返してベルトループに収納してください。

Q：本製品が使用中にずれます

A：以下の 2 点を確認してください。

- ・こしベルトや肩ベルトがゆるみ過ぎていないか確認してください。
- ・うでパッドが肘より少し手前の位置になっているか確認してください。

Q：腰と肩のベルトはどのくらい強く絞めたらよいですか？

A：こしベルトは腰骨を覆う位置でしっかりと締めてください。肩ベルトは背中パッドが背中に密着するよう、締めてください。

Q：背中フレームの身長表示は上側の穴と下側の穴とどちらについての表示でしょうか？

A：背中フレームの身長表示は目安となっています。体格によって変わりますので、装着した際のうでパッドの位置により、自分に合った上側もしくは下側の穴位置に変更してください。

Q：汚れた場合は水洗いできますか？

A：うでカバー、うでパッドカバー、肩ベルトは、外して洗浄することができます。

P.2の説明をご確認ください。それ以外の部位については、拭き清掃を推奨します。

Q：アルコールで拭いても問題ないでしょうか？

A：基本的にアルコールの拭き掃除について問題ありません。

その他の噴霧系殺菌や洗浄についてはお控えください。

消耗部品と交換の目安

この製品の消耗部品は、以下の「交換時期の目安」を参考にして交換してください。
交換にかかる費用や手続きなどは、修理とアフターサービス (P.16) に記載の
故障修理受付までお問い合わせください。

消耗部品	交換時期の目安	備考
うでカバー	破損時・汚れが激しい時	新品をご購入頂き、お取替えください
うでパッドカバー	破損時・汚れが激しい時	新品をご購入頂き、お取替えください
肩ベルト	破損時・汚れが激しい時	新品をご購入頂き、お取替えください
背中パッド	破損時・汚れが激しい時	新品をご購入頂き、お取替えください
ガススプリングユニット	約 1 年間 ※使用頻度により変動	新品をご購入頂き、お取替えください
ガススプリングは消耗品です。メンテナンスは不要です。 構造上、ガスが少しずつ抜けてしまいます。ガススプリングの反力が弱まってきた場合は新品に交換してください。なお、ガスの再充填はできません。		

故障かな?と思ったら

以下の内容は不具合症状の一部です。処置をしても正常に作動しない場合や、
以下の内容以外の不具合が起きた場合は、
最終頁に記載の故障修理受付までお問い合わせください。

症状	原因	対応
補助力を感じない。	うでパッドが手前すぎる可能性があります。	背中フレームを調節し、身長に合わせます。(P.5 参照)
	ガススプリングユニットが劣化している可能性があります	使用頻度にもよりますが、1年で交換を推奨します。
バックルがはまらない。	バックルには裏表があるものがあります。	バックルの向きを変えて差し込んでください。
バックルをはめた際にカチッとき音がない。	バックルが破損した恐れがあります。	バックルが破損した恐れがあります。 最終頁の「修理とアフターサービス」を参照してお問い合わせください。

仕様とパッケージ内容

1. 仕様

項目	仕様
サイズ	S サイズ、ML サイズ
本体寸法 高さ × 幅 × 奥行	460 mm × 440 mm × 160 mm (S サイズ) 510 mm × 525 mm × 165 mm (ML サイズ)
本体重量	3.2kg ※カバー類を含む
アクチュエータ	ガススプリング 2本 (着脱式)
補助力	最大 4.5kgf (片腕)
補助部位	腕
使用環境温度	-20°C～40°C
適用身長 (推奨)	S サイズ：150cm～170cm ML サイズ：165cm～185cm
防塵・防水性能	IP56 (予定)

本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

2. パッケージ内容

開梱し、下記パッケージ内容が入っているか確認してください。

万一、過不足があった場合は、ご購入された販売店までご連絡ください。

名称	数量	備考
マッスルスーツ GS-ARM (GS アーム) 本体	1台	
外装カバー (本体に装着されています)	1着	うでカバー(左右)、うでパッドカバー(左右)、 肩ベルト(左右)、背中パッド(左右)
取扱説明書 (本書)	1冊	
保証書	1冊	

この製品を輸送する際は、購入時の梱包箱を使用してください。

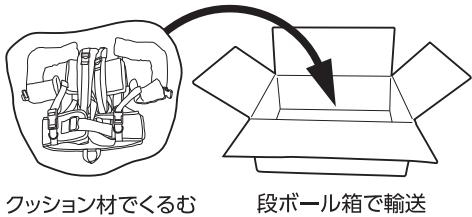
十分に保護されずに輸送すると、本品が輸送中に衝撃で破損する場合があります。

修理とアフターサービス

この製品が故障したときの修理については、お買い上げの販売店にご相談いただくか、以下の「故障修理受付」にご連絡ください。アフターサービスについては、販売店にお問い合わせください。

故障修理時の対応

- ① 本製品のうでベルトは必ず、お休みバックルに接続してください。(P.7 参照)
- ② 本製品をクッション材などでくるみ、段ボール箱に入れて梱包してください。
- ③ マッスルスーツ修理受付、または販売店の指示に従って、お送りください。



故障修理受付および製品の機能に関するお問い合わせ先

コールセンター TEL: 0120-046-505 受付時間：平日 10:00～18:00（土日祝 休み）

廃棄方法について



本製品を廃棄する際には、ガスプリングユニットを取り外してください。
ガスプリングユニットが取り外された本製品は、各国、各自治体の条例に従って正しく廃棄してください。ガスプリングユニットは、絶対に火中に投じないでください。

ガスプリングユニットの廃棄方法は以下の通りです。

- ・ガスプリングユニットの両側の金属部品とレバーユニットを回して取り外す。
両端の金属部品とレバーユニットは、各国、各自治体の条例に従って正しく廃棄してください。
- ・ガスプリングは、下記の要領でガス抜きを完全に行ってから廃棄してください。
 - ① ガスプリングをボルト盤に水平に固定し、ガス充填バルブ端面から 30～40mm の位置に 2～3mm のドリルで穴をあけ、確実にガス抜きを行ってください。
 - ② 作業時には、封入オイルや切粉、ガスの飛散に備えて必ず保護眼鏡をかけて作業を行ってください。

マッスルスーツ GS-ARM (GS アーム) をお買い上げいただき、ありがとうございます。この製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、取扱説明書は必要な時にいつでも読めるように保管してください。本書は、マッスルスーツ GS-ARM の取扱説明書です。お客様の使用環境、選択したオプションにより、部品構成や関連機器が異なります。この取扱説明書で説明していない部品や関連機器については、それらの取扱説明書を良くお読みになり十分理解した上で、安全のため、使用方法を習熟してからご利用ください。

この取扱説明書の著作権は株式会社イノフィスにあります。

この取扱説明書の一部または全部を無断で複写、複製、転載することを禁じます。

この取扱説明書に掲載しているイラストには、若干の相違がある場合がありますがご了承ください。

